

私たちはこの街で生きてはいけないの？  
～相模原障害者殺傷事件と私たちの生きるメッセージ～

# 「みやぎ」アピール大行動 2017



2017年10月9日 (月祝)

12:30開場 13:00開演

せんだいメディアテーク  
オープンスクエア



●13:00- **アピール大集会**

〔第一部 講演〕

「相模原障害者殺傷事件と私たちの生きるメッセージ」

講師 玉木幸則さん

NHK『障害者情報バラエティーバリバラ』レギュラー

〔第二部 当事者アピール〕

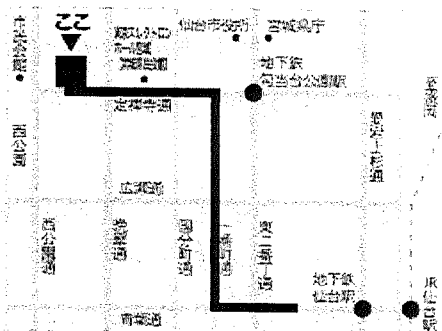
●15:40- **アピール大行進**

せんだいメディアテーク出発⇒ 一番町アーケード

⇒ 仙台駅前 仙都会館前解散 \*右地図参照

資料代  
500円

手話通訳 / 要約筆記



主催/みやぎアピール大行動実行委員会

事務局/仙台市宮城野区松岡町17-1 (コッペ内) Tel: 090-9740-7799 (代表: 鷲見) FAX: 022-299-1279

メール: appeal318@hotmail.co.jp

# みやぎアピール大行動2017

## 私たちはこの街で生きたい！ ～私たちの生きるメッセージ～

あなたは、どこで、だれと、どんなふうに生きていきたいですか？

2016年7月26日、神奈川県相模原市の津久井やまゆり園で19人の命が奪われ、27名が傷つけられました。平成に入って最多の犠牲者を出したにもかかわらず、事件後の報道は乏しく、亡くなった方の氏名すら今も公表されていません。被害者が障害者だったために、隠されてしまっているように感じます。

「障害者なんていなくなればいい」「障害者は不幸を作り出すことしかできない」――。犯人はそう語ったといいます。この言葉に対して、あなたはどのように感じますか？ 怒り？ 恐怖？ それとも…？

残念ながら、こうした考え方が少なからずあることも確かです。

ある人の考えによって、障害者は「生きること」すら脅かされています。それに賛同する人もいます。私たちはそんな社会に暮らしているということを実感されているのです。

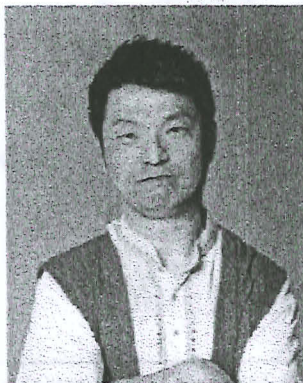
今回の「みやぎアピール大行動」では、障害者相談支援専門員として当事者の視点から発信をしておられ、NHK Eテレ「バリバラ」のメインキャスターでもある玉木幸則さんをお迎えし、相模原の事件を通して、障害者の生活や私たちのめざす社会について考えます。また、「私たちの生きるメッセージ」として、今を生きる仲間の声を丁寧に共有したいと思っています。そのあと、この仙台の街をみんなで一緒に歩きます。

私たちは生きています。この街で、あなたのすぐ近くに暮らしているのです。必要なのは、日々共に生きる社会です。

相模原の事件は遠い話ではありません。どうしたら、障害のあるなしに関わらず、共に暮らせるみやぎをつくれるのか、一緒に考えましょう！「怒り」「恐怖」「悲しみ」「希望」「愛」…。さまざまな気持ちを持ち寄って。ぜひご参加ください！



### 〈講師紹介〉 玉木幸則さん



1968年兵庫県姫路市に仮死状態で生まれる。4歳そこそこで肢体不自由児療育施設に入所、障害者としての洗礼を浴びる。小中学校は、地元の普通学級で学ぶも、高等学校だけ泣く泣く養護学校へ。1991年日本福祉大学社会福祉学部第II部卒業後、知的障害者通所授産施設に勤務するが1年で退職。1992年自立生活センター・メイフストリーム協会事務局次長に就任以後、障害者の自立生活運動にのめりこむ。2009年4月～2012年3月まで NHK Eテレ「きらっといきる」パーソナリティを務める。2012年9月末でメイフストリーム協会を退職。

2013年4月～2017年3月まで 社会福祉法人 西宮市社会福祉協議会 障害者総合相談支援センターにのみや センター長を務める。



### 「みやぎアピール大行動」って？～怒りと願いとともに～

2006年4月の障害者自立支援法の全面施行から1年後、2007年3月18日、450人の障害者・支援者が集まって、集会と仙台市中心街を練り歩く行進を行ないました。

障害者自立支援法は障害者の生活を支える支援に、1割の利用者負担を課しました。そのほかにも多くの問題点がありましたが、「生活に必要な支援に負担を課すのはおかしい」と、怒りをもって反対の声を上げたのです。以来毎年、障害者支援に関する制度の改善を求めて、障害のあるなし、障害種別をこえて誰もが集える場として続けてきました。

障害者自立支援法の問題点に関する改善要望をはじめ、宮城県知事・仙台市長への面談、学習会など、その時々課題に当事者の視点立場に立った取り組みを行なっています。